環境経営レポート　令和5年度版

対象期間：2023年10月1日～2024年9月30日

2024年10月19日発行

内海建設株式会社

〒134－0091
東京都江戸川区船堀7丁目17番18号
TEL：03－3689－4368
FAX：03－3689－4969

組織の概要・対象範囲

事業者名　　内海建設株式会社

代表者　　代表取締役　内海　憲市

所在地　　本社　〒134-0091　東京都江戸川区船堀7丁目17番18号
TEL:03-3689-4368　　FAX:03-3689-4969

E-mail:uchiken@uchiumi.co.jp

環境管理責任者　　市川　昌俊
文書管理担当者　　内海　富士子
TEL　　03-3689-4368
E-mail:kensetu5@uchiumi.co.jp

事業の概要　　総合建設業・建築土木企画設計

事業の規模　　資本金　　1,000　　万円
売上高　　32,961　　万円
従業員数　　16人
本社建物

対象期間:令和5年10月1日～令和6年9月30日

設立年月日　　昭和53年11月15日
建設業許可番号　　東京都知事　許可(般-2)　第74736号
建設業許可年月日　　令和2年11月15日から令和7年11月14日
建設業の種類　　土木工事業・大工工事業・とび・土工工事業・タイル・レンガ・ブロック工事業・しゅんせつ工事業・防水工事業・造園工事業・解体工事業
建築工事業・左官工事業・石工事業・舗装工事業・塗装工事業・
内装仕上工事業・水道施設工事業

対象組織　　本社:東京都江戸川区船堀7丁目17番18号

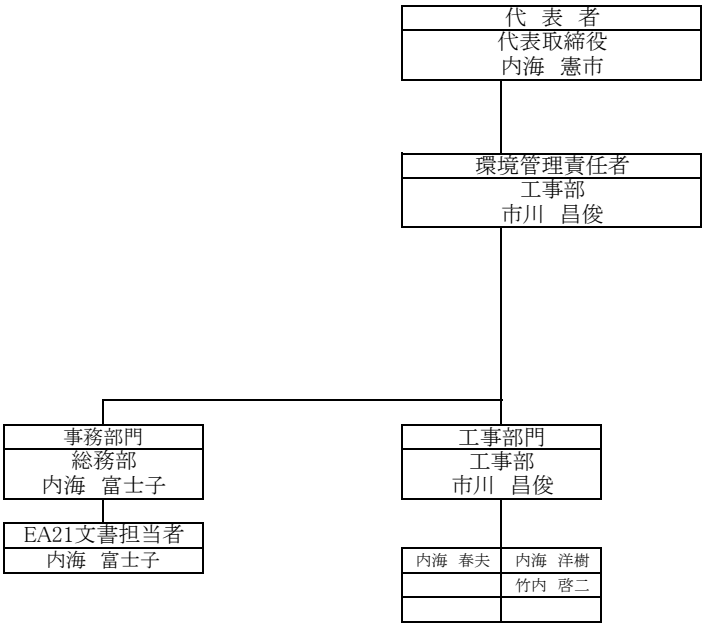
対象活動　　全組織及び全活動を対象としている

主要な建設資材(令和4年度)　　生コンクリート:120.50㎥
セメント　　:　408袋
砂　　:　32.14㎥
上水　　:支給

エコアクション21 実 施 体 制

内海建設株式会社

代表者（承認）	環境管理責任者（作 成）
内海	市川



建設就労3年10月19日発行
（技能修習生）
（特定1号）

代表者
・環境経営方針を定める
・環境管理の責任者を指名する
・資源（人材・資金・技術）の用意
・環境経営システム等の全体的見直し
・実施体制の見直し

環境管理責任者
・環境経営システムの総責任者としての役割権限
・環境経営システムの実績を代表者に報告
・環境経営目標をまとめ、達成状況を確認、記録
・環境経営計画をまとめ、実施状況を確認、記録
・環境教育訓練実施状況確認
・環境関連法規制などの遵守状況確認
・環境関連文書の様式作成、環境関連記録の作成・保存・管理
・環境経営システム運用上の事務管理
・環境活動レポートのとりまとめ

部門長
・環境活動計画策定、達成・実施状況確認、
評価・部門環境教育訓練計画策定実施
・是正処置、予防処置の実施

従業員
・環境活動計画の実施

環境経営方針

環境理念

内海建設株式会社は建設工事業の事業活動を通して、地球の為に

なり、社会の健康を考えたエコ社会を構築する手助けをする為に環境負荷

を低減し、資源の再利用を積極的に推進して、元気な地球を取り戻す為の

継続的な努力を行ってまいります。

活動方針

1　環境経営に積極的に取り組む為に、環境経営システムを構築し、継続的

な環境負荷の低減に取組みます。

2　環境への取り組みとして、特に次の事項に取組みます。

①二酸化炭素排出量の削減に努めます。

②建設廃材の発生抑制と分別の徹底により、リサイクル資源の有効活用の促進に努めます。

③使用する用水の総排水量の削減に努めます。

④環境に関する法律・規則・協定を遵守します。

⑤地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域と共生しての環境保全の推進に努めます。

3　環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の

向上に努めます。

2019年10月1日　　改定

内海建設株式会社
代表取締役　内海　憲市

環境経営目標

当社は、次の目標を掲げて環境活動に取組みます。

中期目標は令和5年度（2023年10月1日～2024年9月30日）実績を基に、毎年前年度比1.0%の削減を目標にする。

項目	令和4年度 基準実績	令和5年度 目標 前年−1%	令和5年度 実積	評価	令和6年度 前年−1.0% 目標	令和7年度 前年−1.0% 目標	令和8年度 前年−1.0% 目標
上水量 ㎥	236.00	233.64	201.00	◎	198.99	197.00	195.03
電力 kWh	11,062.00	10,951.38	10,024.00	◎	9,923.76	9,824.52	9,726.28
ガソリン L	4,625.20	4,578.95	4,552.03	○	4,506.51	4,461.44	4,416.83
軽油 L	6,726.20	6,658.94	8,738.03	×	8,650.65	8,564.14	8,478.50
灯油 L	896.00	887.04	400.00	◎	396.00	392.04	388.12
二酸化炭素 排出量 kg−CO2	35,461.00	35,106.39	38,763.99	×	38,376.35	37,992.59	37,612.66
一般　廃棄物 kg	25.400	25.146	25.400	△	25.15	24.89	24.65
産業　廃棄物 kg	22,260.00	22,037.400	634,210.00	×	627,867.90	621,589.22	615,373.33

◎十分達成した　○達成できた　△努力が必要　×達成できなかった

全社でのガソリン使用量は達成できた、工事現場での軽油使用量は遠距離現場が多く目標未達だった。

工事現場での軽油使用量が増加したため、二酸化炭素排出量が目標未達だった。

産業廃棄物発生量で解体工事が増加してAS、Co塊の発生が多かった。

※当社の使用する塗料及び接着剤は、客先の仕様書により使用量が定められているため削減目標とはしない。
又、塗料及び接着剤は、下請け協力業者の現場持ち込みで使用と管理も下請け協力業者が行っている。

※購入電力の排出係数は、ENEOSでんきの令和3年度調整後排出係数（0.465kg−CO2/kWh）を使用している。

環境経営目標とその実施状況

活動指針	環境経営目標			実施状況
	内　容	中長期目標 令和6(2024)年度 ～ 令和 8(2026)年度	今年度目標 令和5(2023)年度 10月1日～9月30日	
1 建設事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 電力使用量を削減する。	前年度比1.0%削減	前年度同月数で1.0%削減	空調設備等の設定温度の見直しや使用していない電気の電源を切ることを徹底する。またサーキュレーターを使用し部屋の温度を保つ
	102 ガソリン消費量を削減する。	前年度比1.0%削減	前年度同月数で1.0%削減	受注量が減少したことと、エコドライブの徹底が浸透した。
	103 軽油消費量を削減する。	前年度比1.0%削減	前年度同月数で1.0%削減	現場へのルート確認、道路状況をしっかり把握し、車への乗り合わせも考えることを再度周知し徹底します
	104 灯油使用量を削減する。	前年度比1.0%削減	前年度同月数で1.0%削減	空調設備等の設定温度の見直しや使用していない電気の電源を切ることを徹底する。またサーキュレーターを使用し部屋の温度を保つ
2 建設事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	201 産業廃棄物の削減、リサイクルの促進	前年度比1.0%削減	前年度同月数で1.0%削減	工事の内容によって昨年度より大幅に廃棄物が出てしまいました。廃棄物を削減しリサイクル出来るように計画段階でしっかり話し合って行きます
3 建設事業活動を通じて、総排水量(水の総使用量)の抑制、削減に取り組みます。	301 水の総使用量を削減する。	支給のため計測せず	支給のため計測せず	節水意識による活動の成果が実った。
4 環境を配慮した、建設資材及び事務用品の購入	グリーン購入の促進	5個	5個	意識して購入した。
5 事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。	環境法規制等を遵守	遵守	遵守	定期的な遵守状況の確認ができた。
6 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	401 環境方針の全社的展開	全従業員が環境活動計画を分担する	環境目標、環境活動計画の策定への従業員の参画	再度周知の徹底をし、目標達成が出来るようにしていきます

◎十分達成した　○達成できた　△努力が必要　×達成できなかった

当年度環境経営計画（対象期間：2023年10月1日～2024年9月30日）

環境経営目標	手段	責任者
電気	不要照明の消灯の徹底	内海　洋樹
	不要時に空調を使用しない	
	不要時のPC電源のオフ	
	エアコン温度管理の徹底	
ガソリン	エコドライブの徹底	内海　洋樹
軽油	エコドライブの徹底	内海　洋樹
灯油	温度管理の徹底	内海　洋樹
廃棄物	ごみの分別の徹底	内海　洋樹
	社内資料の電子化の推進	
	裏表使用の推進	
	両面・集約印刷の推進	
水使用量	節水ラベルによる注意喚起	内海　洋樹
	バルブの調整による適正水圧の管理	
グリーン調達	環境配慮製品購入の促進	内海　洋樹

環境経営計画の取組結果と次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果	次年度の取組内容
事務所・現場 CO2 排出量の削減 ①不要照明の消灯の徹底 ②不要時に空調を使用しない ③不要時のPC 電源のオフ ④エアコンの温度管理の徹底 ⑤エコドライブの徹底	・ 不要時の照明・空調・PC電源のオフ、エコドライブについては、徹底した。 ・ エアコンの設定温度については、声をかけあって設定温度をキープ出来るようにした。 ・エコドライブの徹底が出来るように教育した。	・ 継続して実施する。 ・ エアコンの設定温度について、このっま継続できるように再度周知する。 ・エコドライブの徹底が出来るように再度教育する。
事務所・現場 廃棄物排出量の削減 ①ごみの分別の徹底 ②社内資料の電子化の推進 ③裏紙使用の推進 ④両面・集約印刷の推進	・ ルールを定めゴミの分別に取り組んだ。 ・ 社内資料の電子化、裏紙使用、両面・集約印刷の推進については、社内資料保管はPDF管理が出来た。引き続き電子化を周知していく	・ 継続して実施する。 ・ コピー用紙の削減について、見える化をし再度周知する。 ・ 電子化するにあたって全従業員に周知をし漏れのないようにする
事務所・現場 ①節水ラベルによる注意喚起 ②バルブの調整による適正水圧の管理	・節水の意識が浸透してきた。	・継続して実施する。 ・ 節水について、再度周知する。
事務所 ①環境配慮製品購入の促進	・意識的な購入を行った。	・継続して実施する。

次年度環境経営計画（対象期間：2024年10月1日～2025年9月30日）

環境経営目標	手段	責任者
電気	不要照明の消灯の徹底	内海　洋樹
	不要時に空調を使用しない	
	不要時のPC電源のオフ	
	エアコン温度管理の徹底	
ガソリン	エコドライブの徹底	内海　洋樹
軽油	エコドライブの徹底	内海　洋樹
灯油	温度管理の徹底	内海　洋樹
廃棄物	ごみの分別の徹底	内海　洋樹
	社内資料の電子化の推進	
	裏表使用の推進	
	両面・集約印刷の推進	
水使用量	節水ラベルによる注意喚起	内海　洋樹
	バルブの調整による適正水圧の管理	
グリーン調達	環境配慮製品購入の促進	内海　洋樹

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

弊社の順守しなければならない環境関連法規等には、廃棄物処理法、騒音規制法、振動規制法、

建設リサイクル法、自動車リサイクル法、フロン排出抑制法、東京都環境確保条例、江戸川区環境条例等がありますが、

これらの順守状況については定期的に環境管理責任者と事務部門責任者が官報等により

最新情報を自主チェックして違反の無いことを確認しています。

環境関連法規等への違反等は過去3年間ありません。

関係当局よりの違反等の指摘及び関連する訴訟は過去3年間ありません。

代表者による全体評価と見直しの結果

環境に対する意識が従業員全体で上がってきているので更に意識を持って出来ればと思います。今後も続けて取り組んでい

環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画、実施体制については、

次年度は変更せずにこのまま継続して活動する。

環境関連文書類の保管と廃棄方法

当社が環境保全活動に伴って作成する各種環境負荷関連データ及び作成した環境関連文書類は、

環境文書担当者が一元的に5ヵ年間保管管理して、その後廃棄事業者に適切な廃棄を委託する。